地方独立行政法人
神奈川県立病院機構

薬剤師募集案内

- 足柄上病院
- こども医療センター
- 精神医療センター
- がんセンター
- 循環器呼吸器病センター

HOSPITAL

神奈川県立病院機構の5病院

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構は、県立病院として次の４つの基本的な役割・機能を担うとともに、患者の視点に立って、質の高い医療を安全で安心な形で提供していきます。

1. 県の政策医療として行う高度・専門医療
2. 広域的な対応が必要な救急医療、災害時医療、感染症医療
3. 地域の特殊性等から地域だけでは実施が困難な医療
4. 各県立病院の特性を生かした医師・看護師等医療従事者の人材育成

足柄上病院（あしがらかみ）

県西地域を支える総合病院

足柄上病院は、機構唯一の総合病院です。患者さん、地域の皆さん、職員が病院に愛着を持ち、病院を大事にしているところが温かく魅力的です。地域の皆さんの健康を支え、地域に根ざした医療の提供に努めております。

DATA

住　　所	〒258-0003　足柄上郡松田町松田惣領 866-1
電　　話	0465-83-0351
交通案内	小田急線「新松田駅」下車、徒歩 7 分　または JR 御殿場線「松田駅」下車、徒歩 10 分
病 床 数	296 床
U R L	http://ashigarakami.kanagawa-pho.jp/

こども医療センター

全国屈指の小児総合医療・福祉施設

こども医療センターは、小児専門病院、肢体不自由児施設および重症心身障害児施設の三つの施設からなる小児総合医療・福祉施設です。お子さん一人ひとりの生活の質の向上や成長発達への支援ができるような医療・福祉の提供に努めております。

DATA

住　　所	〒232-8555　横浜市南区六ツ川 2-138-4
電　　話	045-711-2351
交通案内	京浜急行線「弘明寺駅」乗り換え、バス 10 分 「こども医療センター」下車
病 床 数	430 床
U R L	http://kcmc.kanagawa-pho.jp/

精神医療センター

神奈川県の精神科医療の中心的役割を果たす専門病院

精神医療センターは、平成 26 年 12 月に芹香病院とせりがや病院を統合し、新たに開院した専門病院です。精神科救急、一般精神科のほか、ストレスケア、思春期、依存症、医療観察法医療を提供します。患者さんの思いを大切に、患者中心の医療を目指しながら、地域との連携を深め、患者さんの社会復帰を支援します。

DATA

住　　所　〒233-0006　横浜市港南区芹が谷 2-5-1
電　　話　045-822-0241
交通案内　京浜急行・市営地下鉄「上大岡駅」乗り換え、バス 15 分「芹が谷」下車、徒歩８分
（戸塚、東戸塚、弘明寺からもアクセスあり）
病 床 数　323 床
Ｕ Ｒ Ｌ　http://seishin.kanagawa-pho.jp/

がんセンター

高度・最新の医療を推進するがん専門病院

がんセンターは、神奈川県のがん医療を担う専門病院です。がんと共に今を生きる患者さんに寄り添い、患者さんやご家族との信頼関係を大切にした心あたたかい医療の提供に努めています。なお、がんセンターは平成 25 年 11 月に新病棟を開棟し、高度・最新のがん医療の推進に取り組んでおります。

DATA

住　　所　〒241-8515　横浜市旭区中尾 2-3-2
電　　話　045-520-2222
交通案内　相模鉄道線「二俣川駅」乗り換え、バス 5 分「ライトセンター前」下車
または二俣川駅より徒歩 約 15 分
病 床 数　415 床
Ｕ Ｒ Ｌ　http://kcch.kanagawa-pho.jp/

循環器呼吸器病センター

地域と連携して患者を支える循環器・呼吸器専門病院

循環器呼吸器病センターは、循環器や呼吸器の急性期から慢性期までの良性・悪性疾患、内科的・外科的な治療が必要な患者さんを対象とした専門病院です。医療スタッフが協力して、患者さんが病気と共存して生活していくことを支援しています。

DATA

住　　所　〒236-0051　横浜市金沢区富岡東 6-16-1
電　　話　045-701-9581
交通案内　京浜急行線「能見台駅」下車、徒歩 5 分
病 床 数　239 床
Ｕ Ｒ Ｌ　http://junko.kanagawa-pho.jp/

ROLE

薬剤師の役割について

病院における薬剤業務は多方面にわたり、薬剤師に要求される職能もさまざまな分野に及ぶようになりました。これからの薬剤師の役割はますます専門性が高まっていきます。『薬のあるところに薬剤師有り』これからも、チーム医療の一員として患者さんのためにその職能を役立てていきます。

1 チーム医療関連業務

院内には、病棟の単位にとどまらず病院全体をそれぞれの役割を担って活動する多職種で構成されたワーキングチームがあり、薬剤師もこれに加わり活動しています。栄養サポートチーム（ＮＳＴ）、感染制御チーム（ＩＣＴ）、緩和ケアチーム（ＰＣＴ）など多くの病院で活動しているチーム以外にも、救急体制検討チームなど病院のニーズに沿ったチームがあり、様々な分野で薬剤師の職能を生かした活動を行っています。

2 薬剤管理指導業務

入院患者さんが適切な薬物治療を受けられるように、指示や処方オーダの確認や記録を行い、患者さんへベッドサイドで薬剤について必要な説明や指導を行ったり、副作用の回避・早期発見に努め、病棟スタッフである医師・看護師と情報交換しながら活動しています。

3 調剤業務

外来患者さんには原則、院外処方箋を発行し、院外の調剤薬局で調剤していただいています。入院患者さんの薬は医師の処方箋に基づき調剤しています。

処方箋に記載された薬の内容、投与量、飲み方、飲み合わせなどを確認し、疑問があれば医師に問い合わせをしています。患者さんが薬を安心して服用していただけるよう、複数の薬剤師がチェックをして正確な調剤に努めています。また、お薬を確実に服用していただくために「一包化」をしたり、患者さんの年齢、状態により、錠剤の粉砕やカプセルを外したりして服用しやすい形にする工夫もしています。

4 医薬品管理業務

医薬品の在庫管理（購入・供給）や品質管理などを行っています。医薬品が適性かつ安全にしようされるように、薬局内や病棟などに配置している薬剤の保管方法・有効期限のチェックを行っています。また、新規に採用申請された医薬品（主に新薬）の採用の可否を審査する、薬事委員会の事務局を担当しています。審査に際しては、薬の有効性・安全性はもとより、患者さんの医療費負担軽減も視野に入れています。

5 医薬品情報提供業務

医薬品の安全・適正使用のため、医薬品に関する情報の収集と医師・看護師・その他の医療スタッフへの情報提供を行っています。また、入院患者さんの薬剤管理指導業務に必要な情報バックアップの役割を担っています。

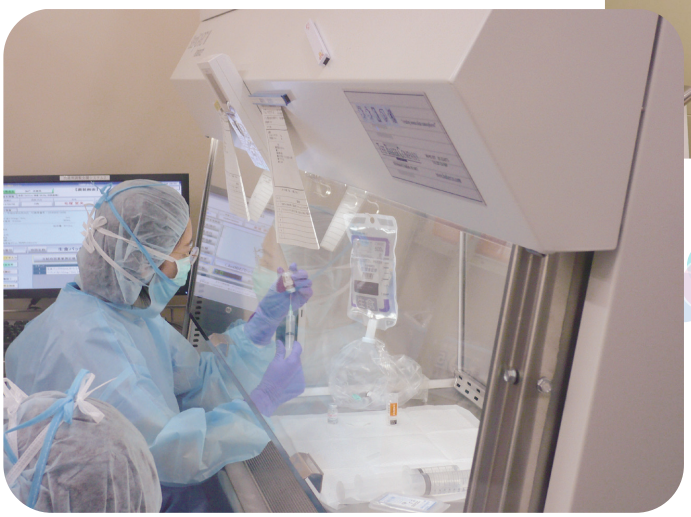
また、院内の副作用情報の収集を行い、情報管理部門としての業務を行っています。発売間もない新薬の副作用を重点的に監視する市販直後調査についても同様です。

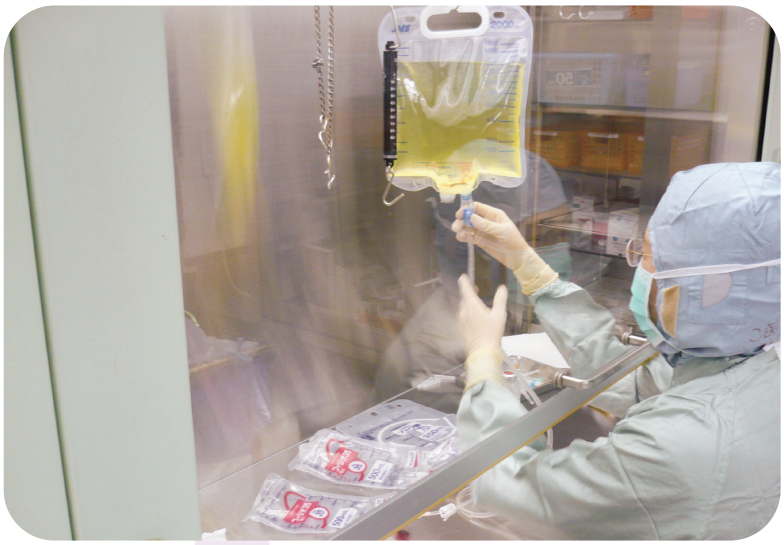
6 注射薬払い出し業務

注射薬・処方薬等の管理・供給を行なっています。入院・外来患者さん共に、注射薬自動払出システムにより注射処方箋に基づき注射薬調剤（個人別、施用日別セット）を実施しています。これにより、薬剤による事故防止や適正な在庫管理が行えることを目標としています。

7 注射の調製業務（抗がん剤ミキシング、TPNの調製）

レジメン管理のもと、外来患者さん及び入院患者さんの抗がん剤調製を行っています。抗がん剤の被ばくを防ぐため、閉鎖式接続器具を使用し、防塵衣・無塵帽・マスク・防護めがね・二重ゴム手袋を着用し、安全キャビネットにて作業を行っています。また、治験薬の調製も行っています。





8 製剤

治療上必要な市販されていない薬品や、院内で調製した方が望ましい薬品などを製剤室にて調製しています。製剤によってはクリーンベンチで調製したり、オートクレーブを使用するものもあります。

9 臨床研究支援業務

質の高い治験・臨床研究を円滑に実施するためにCRCの存在は不可欠です。治験というチーム医療においてコミュニケーション、コーディネーション、リスクマネジメント等のスキルが求められ、薬剤師の能力を存分に発揮できます。

また、治験・臨床研究を実施する際、多くの繁雑な手続きや書類の作成、相談の受付、治験審査委員会（IRB）・倫理審査委員会に関する業務、監査への対応等、薬剤師は「薬の専門家」として治験・臨床研究の支援もしています。

先輩の声

今井（いまい）　智子（ともこ）

● 所属名

循環器呼吸器病センター
（平成 22 年度採用）

心臓リハビリテーション指導士
日本糖尿病療養指導士
認定実務実習指導薬剤師
心リハチーム参加

〈ある１日のスケジュール〉

8：30　朝礼
8：45　調剤業務
12：30　昼食
13：30　病棟業務、服薬指導
15：00　注射業務
16：30　心リハカンファレンス

「現在の職務内容」、「仕事のやりがい」は?

心臓リハビリテーション（心リハ）チームの一員として活動しています。心リハとは、患者さんが自分の病気を理解し、一人ひとりに合わせた運動指導、危険因子管理、心のケアなどを総合的に行うものです。私は、薬剤師の立場から「再発・増悪予防」のために薬を飲み続ける重要性を繰り返し指導しています。また、退院後の生活状況を把握し、正確な服薬管理が出来るよう、他職種と相談し計画を立てています。入院中にかかわった患者さんが、退院後、「薬剤師さん、薬ちゃんと飲んでいるよ」「ちょっと相談が…」と廊下で声をかけてもらうことがあります。やりがいを感じる瞬間の一つです。

宇野（うの）　倫弘（みちひろ）

● 所属名

がんセンター（平成 25 年度採用）

消化器内科担当
薬剤科機器担当
外来がん治療認定薬剤師
（平成31年度こども医療センターに異動）

〈ある１日のスケジュール〉

8：30　ミーティング
8：40　抗がん剤混注業務
12：00　昼食
13：00　病棟業務
15：00　注射業務、調剤業務

「県立病院機構を選んだ理由」、「今後の目標」は?

大学での卒業研究を抗がん剤の薬薬連携に関するテーマで行い興味を持ち、がんの専門病院である当院を志望しました。県立病院機構は１つの総合病院と４つの専門病院からなり、病院間での異動も可能です。ジェネラリストとスペシャリストのどちらも目指せる点も、キャリアプランの形成をしやすく魅力だと思いました。

今後の目標としては、がん専門やNST専門の資格取得を目指して日々取り組んでいます。当院では希望すれば早い時期からチーム医療に関わることも可能です。個々のやる気に応じて資格取得に向けた仕事ができることも魅力の一つだと感じています。

主な認定資格取得者

当機構では、下記の資格が取得可能です。

2020年5月現在

資　格　名　称	人　数
がん薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	２名
感染制御認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	５名
精神科薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	１名
ＨＩＶ感染症薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	１名
日病薬病院薬学認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	12名
小児薬物療法認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）	６名
認定実務実習指導薬剤師（日本薬剤師研修センター）	15名
漢方・生薬認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）	４名
がん専門薬剤師（日本医療薬学会）	２名
外来がん治療認定薬剤師（日本臨床腫瘍薬学会）	１名
緩和薬物療法認定薬剤師（日本緩和医療薬学会）	１名
抗菌化学療法認定薬剤師（日本化学療法学会）	３名
認定ＣＲＣ（日本臨床薬理学会）	６名
日本糖尿病療養指導士（日本糖尿病療養指導士認定機構）	４名
神奈川糖尿病療養指導士（神奈川糖尿病療養指導士認定機構）	３名
心臓リハビリテーション指導士（日本心臓リハビリテーション学会）	１名
ＮＳＴ専門療法士（日本静脈経腸栄養学会）	15名
日本DMAT隊員（厚生労働省）	１名

主な施設認定

資　格　名　称	認定団体
がん専門薬剤師研修施設（がんセンター）	日本医療薬学会
がん薬物療法認定薬剤師研修施設（がんセンター）	日本病院薬剤師会
NST専門療法士教育施設（がんセンター、こども医療センター）	日本静脈経腸栄養学会

職員の身分

当機構は、平成22年度に地方独立行政法人に移行しましたので、職員の身分は地方公務員ではありません。しかし、県の直営を離れたことで、予算や人事などで柔軟な運営が可能となっています。

職員在籍状況（R2.4）

90名の薬剤師（正規職員）が勤務し、下表のとおり、世代間のバランスの取れた働きやすい環境です。また、２０代・３０代の若手職員が多く、活力ある職場です。

若手職員は、先輩職員から助言をもらいながら、仕事をすることができます。

年齢構成	２０代	３０代	４０代	５０代
人　数	２３名	３７名	１５名	１５名

人事異動

人事異動は、本人の意向やキャリアアップなどを考え、相談しながら決めています。当機構には１つの総合病院と４つの専門病院がありますので、いろいろなキャリアを積むことができます。

病院見学会

病院ごとに、夏休みなどを利用し、病院見学会を実施しています。

＊詳しい日程は、各病院のホームページでご確認ください。（以下のＱＲコードでアクセスできます）

足柄上病院

こども医療センター

精神医療センター

がんセンター

循環器呼吸器病センター

待遇

■ 給　　与　約 237,000 円（地域手当を含む）（大学（6年制）を新たに卒業する人。）

このほか、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当等がそれぞれの支給条件に応じて支給されます。

また、大学卒業後に学歴又は職歴がある人は、この額に一定の基準で算出された額が加算されます。

■ 勤務時間

1週間あたり週 38 時間 45 分

■ 休　　暇

年次有給休暇（年間 20 日付与、初年度は採用月により異なる）のほか、夏季休暇（5日間）、忌引休暇等の制度あり。

■ 福利厚生

- 勤務条件に応じて、院内保育を利用できます。
- 職員が結婚・出産したときや、育児のため休業したときなどは、一定額の給付金や手当金を支給します。
- 健康管理事業として、各種健康診断を行っています。
- 宿泊施設、文化施設、映画館などの利用割引があります。

■ 子育て支援のための制度

- 職員が安心して子育てができるように、様々な休暇制度を設けています。

出産休暇	出産予定日前8週間目にあたる日から出産の日後8週間目に当たる日までの期間内において必要な日数の休暇を取得することができます。
育児休暇	生後1歳6月に達しない子を育てる職員が、1日2回それぞれ 60 分の休暇を取得できます。
子の看護休暇	中学校就学前の子を養育する職員が、その子の看護のために1年につき5日間の休暇を取得できます。
育児参加休暇	妻の出産予定日前8週間目に当たる日から出産の日後8週間目に当たる日までの期間内において、5日間の休暇を取得できます。
育児休業・部分休業	3歳に満たない子を養育する職員は、育児休業をすることができます。また、小学校就学前の子を養育する職員について、1日の勤務時間の一部について勤務しないことができる部分休業の制度もあります。
特別休暇	上記以外に、妊娠中の女性職員の通勤緩和や、妻の出産に伴う休暇などがあります。

問い合わせ先

地方独立行政法人
神奈川県立病院機構
本部事務局人事部

〒231-0005
横浜市中区本町 2-22 京阪横浜ビル 4 階
TEL：045-651-1233

ウェブサイト：https://kanagawa-pho.jp/

神奈川県立病院 で 検 索

R03.02